

川辺純子先生， 誉清輝先生の退任に寄せて

経営学研究科長 草野素雄

2020年3月、城西大学大学院で長年にわたり大学院生をご指導いただいた教授陣が退任されることになりました。

今回お二人の先生から寄稿いただきましたので、その御功績を讃え、ご紹介方々感謝の意を表したいと思えます。

川辺純子先生は、外資系の金融機関に勤務し、東京大学大学院経済学研究科修士課程、博士課程を経て、YMCAで教鞭をとられた後、2004年4月に城西大学経営学部開設時に助教授として着任され、2008年4月に教授に昇格しました。その後学生部副部長、教務部副部長、女性人材育成センター長、経営学部副学部長を歴任され、2016年より城西大学副学長に就任し、2020年3月まで理事長、学長を支え、城西大学発展のため貢献されました。研究面では、アジアの産業と企業を対象に、特に日本の在外商工会議所の活動に焦点を合わせ、近年はマレーシア、香港、ブラジルなどを訪問し、精力的に研究活動を行ってこられました。本号では、これまでのご自身の大学院での教育研究の振り返りに加え、これからの大学院教育に対するメッセージを認めていただきました。

誉清輝先生は、1970年台湾淡水工商管理専科学校（現真理大学）企業管理科を卒業後、淡江大学で日本語を学び、慶応大学を経て、早稲田大学商学部を卒業し、早稲田大学大学院商学研究科を修了した後、日本企業で長年アジア全域の貿易に従事されました。その間上海交通大学大学院安泰管理学院で管理学博士号を取得し、早稲田大学や城西大学で非常勤講師を務め、2010年より本学経営学部客員教授に就任し、2020年3月まで経営学部及び経営学研究科で学生や院生の指導をしていただきました。特に研究生や大学院生の募集活動においては大変ご尽力いただきました。城西大学大学院の中で唯一定員を満たしているのが経営学研究科であり、優秀な院生を迎え入れ、育成し、有為な人材として社会に送り出すことができているのも誉先生のお陰です。研究分野も台湾、中国、日本をはじめアジアの経済発展に焦点を当て、国際学会で発表をし、台湾政治大学校では客員教授（Visiting Professor）も務めています。本号では城西大学および城西大学大学院経営学研究科での思い出を書いていただきました。

今年は新型コロナで慌ただしい中、原稿を用意して下さったことだけでなく、これまでのご功績に対し心より感謝申し上げます。

最後に、今年3月で退任された新井先生と羽瀨先生にも大学院で人材育成に貢献して下さったことを付言したいと思います。新井先生は木村先生の跡を継いで多くの教員養成に尽力され、羽瀨先生は会計プロフェッショナル、特に公認会計士を毎年育て上げ、城西大学経営学研究科の名声高揚に貢献されました。また改めてお二人にはこれまでの経緯を振り返っていただく機会を設けたいと思っています。先生方が打ち立てて下さった金字塔を守り、これからもさらに発展させるよう努めてまいります。ありがとうございました。

2020. 7. 27.